



自己紹介

- 武蔵野大学グローバル学部日本語コミュニケーション学科 准教授
- 専門:日本語教育、教育工学(特に遠隔教育、eラーニング)
- 大学では一般科目でサブカルチャー科目を担当
- コロナ渦中の学びのオンライン化で、「ICT相談バーかおる」と称して、Facebookのグループと、オンラインバーを開催
- 2020年日本語教育学会奨励賞受賞
- 生成AIはとりあえず、情報収集+ちょこっと使っている

『教室へのICT活用入門』
国書刊行会

教師の関心ごと

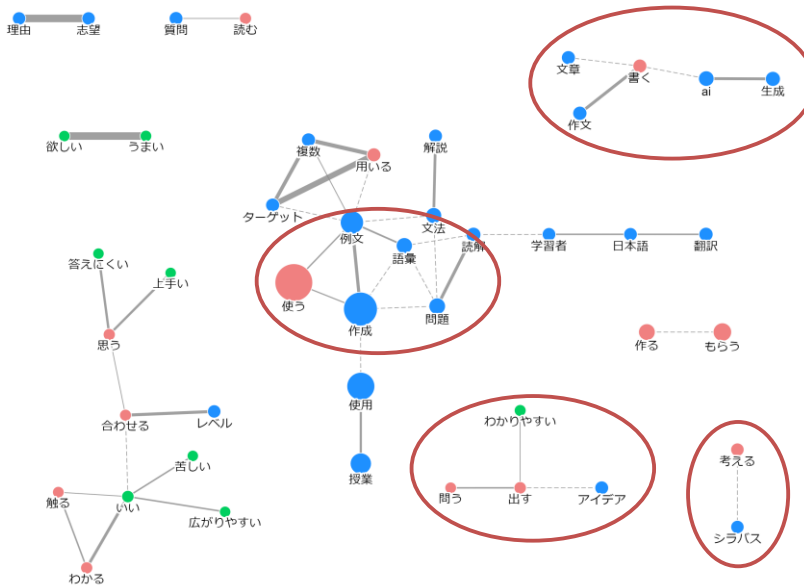
学習の機械化
= 教師不要？

学習者の
不正利用？

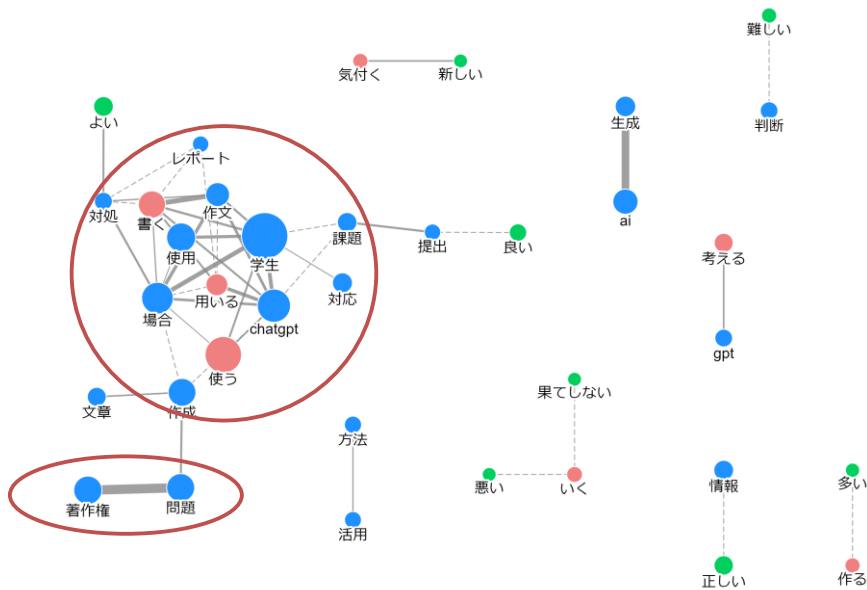
教師の仕事
の効率化？



事前アンケートから見る皆様の使用例



事前アンケートから見る皆様の不安



本日の内容


事前アンケートを見ると・・・

1. そもそも生成AIについて知りたい
2. 効果的な使い方、プロンプトについて知りたい
3. 信頼性の妥当性について知りたい
4. 学生の不正利用の防ぎ方について知りたい



1. そもそも生成AIについて知りたい

- 最近見てわかりやすいと思った資料を紹介
- 東京都「文章生成AI 利活用 ガイドライン」Version 1.2
2023年 8月 東京都デジタルサービス局
https://www.digitalservice.metro.tokyo.lg.jp/ict/pdf/ai_guideline.pdf
- 東京都が共通デジタルツールとして全面的に導入するにあたり都職員向けに作られたガイドライン
- 文書生成AIの概要から使用の注意点まで簡潔にまとまっている
- 著作権や個人情報の扱いなども含まれ、都職員だけでなく全ての利用者にも参考になる内容



2. 効果的な使い方、プロンプトについて知りたい

- 仕事の効率化、何がしたいの???
- うまく使えば仕事は効率化できると言われている
- 何がしたいか？はっきりしていればプロンプトも探せる
- 漠然と何か効率化したい、ではプロンプトも探せないし、聞いた人も答えようがない
- SNSのグループでもこの手の質問がかなり多い！

教師がChatGPTを使って生活を楽しむ20の方法

1. よりスマートな検索エンジン
2. 読み物を作成
3. 理解度をチェックするため
を入手
4. ライティング・プロンプトを作成
5. 語彙導入
6. 保護者への手紙を作成
7. 具体例の提示
8. 数学の問題作成
9. 基本的なレッスンプランの作成
10. 学生サポートの方法を探す
11. 読者のための質問
12. 読者のための質問
13. 読者のための質問
14. リストの作成
15. 若者言葉の把握
16. Botと議論を行う
17. エッセイのアウトライン構築
18. 文章の校正や提案
19. ピアフィードバックの練習
20. 答え合わせ

という風に、できる！自分はどう使っている！
という話題はあるが、プロンプトまで丁寧に教
えてくれている人は少ない

を告げる

Staake, J. (2023)

利用法案

- シラバスの下案を作る
 - 練習問題を作る
 - ルーブリックを
価する
 - 今年度の反省
画を作る
 - …などなど
- ただし、本当に作ろうと思うと、
そこにはSEとしての知識、もしくは
は専門家に依頼する資金が必要に
なってくる場合が多い
- 文系語学教師が思いつくことは、大体出来そう

シラバスの下案を作る:教科学習

【教科学習の場合】

- 書き手がどんな内容を含めたいかわかっている場合、かなり使えそう
→既存のシラバスを見直したい時に便利そう
- ディスカッションやグループ発表まで入れているのがさすが(笑)
- これくらいは、Chat GPT3.5でも可能

【プロンプト】

あなたの専門は日本語教育で、教師としてはベテランですが、新しく言語とサブカルチャーに関する授業を担当します。大学の基礎科目で履修者は2年生、3年生、4年生です。授業回数は7回で、一回の授業は100分です。1学期のテーマは、サブカルチャーの概要についてです。この授業シラバスを作ってください。授業内容には、サブカルチャーとは何か、サブカルチャーの歴史、ハイカルチャーや大衆文化との関わりや違い、作品紹介を含めてください。

日本語授業スケジュールの下案を作る

【語学学習の場合】

- ちょっとした準備が必要、もしくは有料版にする
- 今回はあくまで無料版で頑張ってみる!
- (下準備1)『いろどり』のCan Doリストを
- (下準備2)とりあえず、活動リストの列のみコピーし、ChatGPTでテキストをリスト化し、番号を振ってもらう

【プロンプト】 以下にリスト番号をつけてください。

【プロンプト】

- 上記の79のリストを使って、授業スケジュールを作ります。79の項目を全て順番通りに勉強する授業スケジュールを作ります。授業は1日4時間1コマ50分、月曜日から金曜日の週5日、12週で全て勉強します。授業スケジュールを作ってください。

ここで気になるのが著作権
このくらいならセーフ？
やっぱりアウト??

練習問題を作る

- シチュエーション別の会話例を作り、そこから穴埋め問題を作る
- 文章を箇条書きにし、その順番を変え、入れ替え問題を作ったりリスニング問題に使ったりする
- 文章の正誤問題を作る
- 文章の内容理解の問題を作る

(南部2023)

13

学内で作った教材があれば著作権は気にせず使えるが、まとまった文章の場合、著作権侵害に当たらないものを用意する必要があるそう

学生の課題を評価する

【学生の課題をA,B,C,Dという大枠で評価することは可能】

- 手順

ルーブリック的なプロンプト、もしくは、ChatGPTでルーブリックを作る

李(2023)

- 生成AIは評価が甘い傾向にある
 - プロンプトの差より、バージョンの差で精度が変わった
- 実際に評価に使用する場合は、GPT-4を使う

個人的には、生成AIの評価で成績をつけることには疑問がある

学生の課題を評価する



【間違いを訂正することも可能】

- 英語などではすでに大学レベルで使用されているケースも
- ただし、日本語でどのくらい使えるかはやってみないとわからない

→教師の個人的許容が関わる

- 資金と専門家を投入すればより正確な添削が可能
東進ハイスクール「英作文1000本ノック」
 - 同じようなことはJLPT対策でもできるはず
- ただし、資金力が必要



学習者としての使用（藤本の場合）

時々、英語の学習をChatGPTとしています（笑）

- 準備として、音声読み上げソフト「音読さん」を
Google Chromeのアドインに入れる

プロンプト1「CEDR B2レベルで英語の会話の練習をしたいです」

プロンプト2「文法の間違いも直してください」

プロンプト3「文法の間違いの説明は必要ありません」

音読さんで会話練習の良い所イマイちな所

- 音声入力を文字変換してくれる
 - 若干なら発音の癖も発見できるかも
 - 会話だけでなく文法チェックもしてくれる
 - テキストで記録が残る
- 周囲に母語話者がいない場合など、会話相手になってくれる

✓レベル依頼はできるが、そこまで厳密ではない
 ✓即時的な話題には答えられない→会話に困る
 →こちらが主体的に話さないと会話のキャッチボールにならない

教育関係で見たケース

シラバスとレッスンプランを作るのに、これまで**20数時間**かかっていた、
 でも、**Chat GPTで5時間**で済んだ！
 アメージング！！




生成AIと手間

- PC関係はなんでもそうですが・・・
- クリックしてぼん!と何かができるのは、その裏に膨大なSEさん達の作業が隠れている
- 生成AIは、それをPCに関する言語を知らなくても「プロンプト」を使ってできるようにするもの
- なので、自分の仕事を効率化したい場合、自分の言葉で命令しないと、適切な回答は得られない
- また、生成AIは「対話」、自分が対話して最適解を得ていくしかない

ChatGPTと日本語



- 日本語はまだまだ情報量が足りない
→ChatGPTのCEOが来日時に日本語に力を入れると発言
- 中国語も利用者が多いことからかなり精度が高いという話
- 日本語の精度も徐々に（急速に？）上がっていく可能性はある
→なので、利用を否定する²⁰のに日本語の貧弱さを取り立ててもあまり意味がないかも



4. 学生の不正利用の防ぎ方について知りたい

- 教師のいちばんの関心ごとと言えるかも
- じゃあ、具体的にどのようなことを心配しているのか？

生成AIを使った？



3. 信頼性の妥当性について知りたい

- 生成AIの特徴、親切すぎて知らないことまででっちあげて答えてしまう（ハルシネーション）
- そのために、使う側の知識が求められる
- もう一つは、教師自身がどこまで生成AIに信頼性を求めるのか
→これはかなり個人差がある

藤本が考える学生の利用

- ITスキルが高い学生が生成AIを使って提出して来た課題は、たぶん学生よりITスキルが高い教師でないと見抜けない
- 生成AIを使うことにより、自分一人で作業するよりも良いものを生み出せる可能性がある
- ただし、生成AIのことをあまり理解していない学生が中途半端に使うと、内容の浅いものしか出てこない上に、学生の学力も伸びない

→日々の学生との関わりがより重要になる

藤本が考える学生の利用

- 卒論など長期間にわたって指導するものはあまり問題がなさそう
- 自分が受け持っている科目だと、学期末レポートみたいなものが一番ヤバそう
→これ、どうしてだと思いませんか？
- 藤本の反省「生成AIで簡単に書けるようなレポートテーマ」を課題とする自分がダメ

「何のための課題？」

藤本が考える学生の利用

- 一番ヤバそうだなと思うのは、実は大学じゃないか？
- 筆記のペーパーテストがよりもレポートが多い
- 「安易なテーマ」のレポートの作成は生成AIの一番の得意分野
- その上、学生の平時の実力もあまり把握できていない
- 怪しい…と思っても判断つけられない



生成AIの影響：日本語学校の場合

- 学生1人1人を把握できている
- チームティーチングのことが多 学生把握ができる
- 目的もある程度明確
- 進学のための評価の機会が複数 小手先だとどこかでつまづく

生成AIで作ったか判断できる？

- 生成AIが書いたかどうか100%判別する方法はない
- **教師の疑心暗鬼が生まれる**
- 生成AIに生成AIで書いたレポートかと判断させたら半数以上が生成AIと判断され落第の危機に
→誤判断が混ざっていて現場は混乱
- 教師の不安の根源は、「本当に自分でそのタスクを行ったのか？」を即座に判断できないところかも
- ヨーロッパなどでは生成AI禁止、でも国で禁止しても、いくらでも使う方法がある

生成AIで作ったか判断できる？

- 作文やレポートに関して
→語学の授業の場合、「書かせるだけ」では十分じゃなくなる可能性あり
- 自分が書いたものを口頭で説明とか、そういう作業が求められるようになる？
- 口頭発表の内容をすぐに文字化できる時代
- それをループリックで自動評価もできる！

学習者側の問題

- 「良い点数を取る」ことが目的の場合、安易な使い方を
する
→しかし、それでは学力は身についていかない
- 結局、学習者の自律性や自己コントロールの問題
- 高校生のスマホの利用に関する調査、学力の高い高校生はスマホの利用時間が短い＝自己調整できている
- 「なぜ学ぶのか」という目的を学習者自身が理解すること
- 学習者オートノミーにどう働きかけるかということがこれまで以上に重要になる

教師側の問題

- **教育だけでなく社会の大変換期の只中**にあるという意識
- 「これまで」にこだわっても変化は止められない
- ただし、生成AIを始め、新しい技術を使いこなすのは簡単なことではない
→ **「情報にアンテナを張って、時々使ってみる」精神が大事**
- 「教育のためのChatGPT」に関する書物も出版され始めている
- 「プロンプト考えるの得意かも？」と思ったら情報発信すると稼げるかも？！

魔法使いの終焉

- 現在は文系学部卒業でもSEになれる
 - そして、SEからプロンプトデザイナー
 - それも5000万稼げるのは短期間と想定される
- 永遠に変わらない仕事
なんてあり得ない
『続く道花の跡』
- 40代以上の教師の強み
→ パソコンとインターネットがない時代を知っている
 - 仕事をしている中でパソコンが登場
 - 「仕事がなくなるのでは？」という気持ちを抱いたことがある人は少なくないのでは？
 - 40代以上じゃなくても、**私たちは意外と柔軟性が高くて強か**

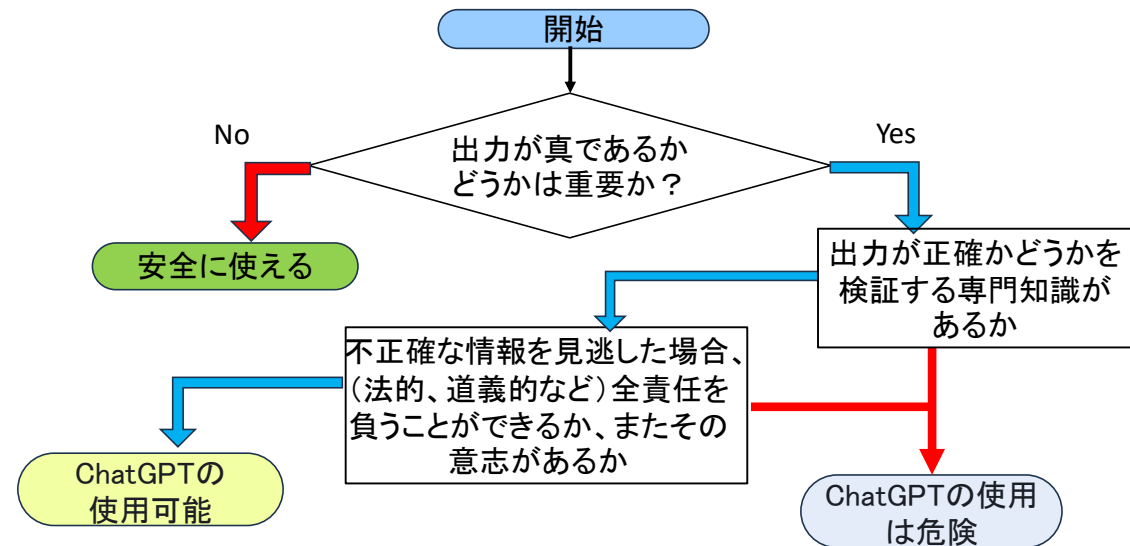
藤本が面白いなと思う点（現在）

生成AIで何ができるか
知りたい・・・



- なぜこのよ **AI研究の第一人者がGoogle退職 生成AIに警鐘**
- どこまで
→ まだわかっておらず分析が現在進行中
- 社会適用が先行している状態（松林2023）
- コロナに引き続き、壮大な社会実験のただ中にいると考えられる

課題にChat GPTは使用可能？



ただし、出力された単語や文章が正確かどうか、
また常識的なものであるかどうかを必ず確認

Tiulkanov,A.(2023)

33

何を採用するかは人次第

- 生成AIに候補を示された時、最終判断するのは人＝自分
- 使った責任
 - (学生) 提出したものについて質問されたときに的確に答えられるか
 - (教師) 成績判断に使った場合、成績に不服を申し立てられた時にきちんと説明できるか
- 自分が責任を取れる範囲を明確にし使う

藤本が面白いなと思う点（現在）

先のことは本当にどうなるかわからないので、わからない未来を悲嘆しても仕方ない



- コロナに引き続き、壮大な社会実験のただ中にいると考えられる

生成AIに限らず最先端技術との向き合い方

【個人的な使用】

- 新しい技術（特にツール）の使い方は、ネットでいくらでも探せるが、自分の目的がはっきりしていないと探せない
- 何に使いたいかわからない場合は情報をシャットダウンせず気になる情報に触れるようにしておく

【組織運営面・組織的な使用】

- 最先端技術に関する倫理的・法的・社会的課題（ELSI：Ethical, Legal and Social Issues）
- 学生だけでなく、教師がどう使うかの指針
- 研究倫理なども変わってくる可能性はある
- 現場に任せる部分と組織での決定の両輪

日本語授業での取り入れ方アイデア

- 文章作成AIだけでなく、いろいろな生成AIを活用すると面白そう
- 画像、動画、音楽・・・
- もちろん文章生成AIで小説や俳句、詩などを作って！
→ クリエイティブな活動

- ✓ プロンプトをどうするか
- ✓ 生成AIが作ったものを自分の作成意図も含めて説明
- ✓ クラスメートの作品へのコメント
→ **すべて、日本語運用能力が必要**

引用文献・参考文献

- 金丸 敏幸(2023) 「ChatGPTが語学（英語）教育に与えるインパクト」 国立情報学研究所
<https://youtu.be/hzsMs0h80M8> (2023/6/28閲覧)
- 東京都デジタルサービス局 (2023) 「文章生成AI 利活用 カイトライン Version 1.2」
- ななせ悠 (2023) 「続く花の跡」 『週刊ジャンプ+』
<https://shonenjumpplus.com/episode/4856001361331145833>
- 南部久貴 (2023) 「仕事のタイプ向上！ Chat GPTプロンプト集問題づくり」, 『授業力 & 学級経営力2023年11月号』, No. 164, 明治図書48-51
- 古川渉一・酒井麻里子 (2023) 『ChatGPT対話型AIが生み出す未来』 インプレス
- 松林 優一郎(2023) 「ChatGPTと教育における信頼性」 国立情報学研究所 <https://youtu.be/ImzY8fgV4EE> (2023/6/28閲覧)
- 矢内東紀 (2023) 『AIが教えるAIの使い方ChatGPTの衝撃』 実業之日本社
- 李在鎬 (2023) 「ChatGPT による日本語作文の自動採点」, 『2023年度日本語教育学会秋季大会予稿集』, 日本語教育学会, 158-163
『授業力 & 学級経営力2023年11月号』 No. 164, 明治図書
『教育科学国語教育2023年11月号』 No. 887, 明治図書
- 大阪大学社会技術共創研究センター https://elsi.osaka-u.ac.jp/what_elsi (2023/12/10閲覧)
- NHK 『年収5000万円！ ChatGPT操る「プロンプトエンジニア」って』
<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20230518/k10014071011000.html> (2023/6/28閲覧)
- Aleksandr Tiulkanov(2023) "Is it safe to use ChatGPT for your task?"
https://www.linkedin.com/posts/tyulkanov_a-simple-algorithm-to-decide-whether-to-use-activity-7021766139605078016-x8Q9
- Jill Staake (2023) "20 Ways Teachers Can Use ChatGPT To Make Their Lives Easier"
https://www.weareteachers.com/chatgpt-for-teachers/?fbclid=IwAR1je_J5xRgexGBD3NghusRO_JXAY9pWan0yuBEhsI1K9A0sACj2exaFLpo(2023/7/7)
- Harry Pickens (2023) "ChatGPT – A Tool Not a Threat: How Elementary School Teachers Can Use ChatGPT to Increase Productivity, Reduce Stress, and Help All Students Succeed"
イラスト いらすとや